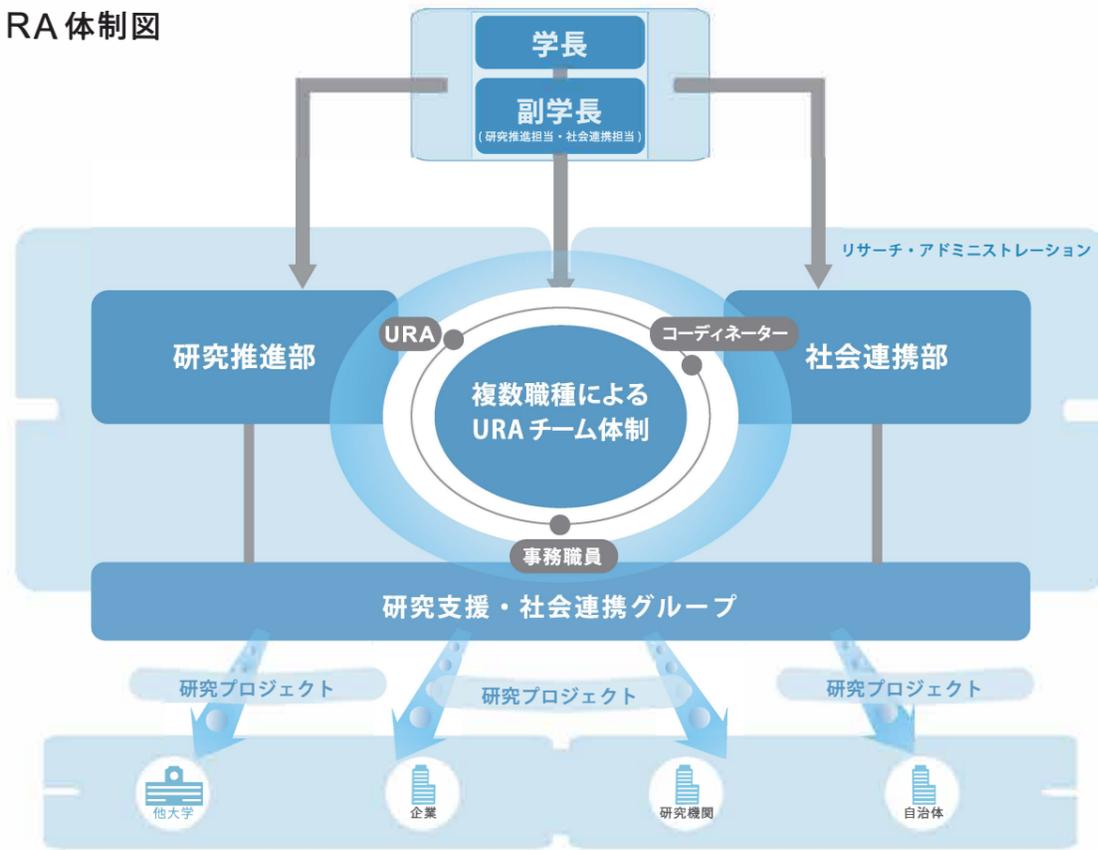


URA体制図

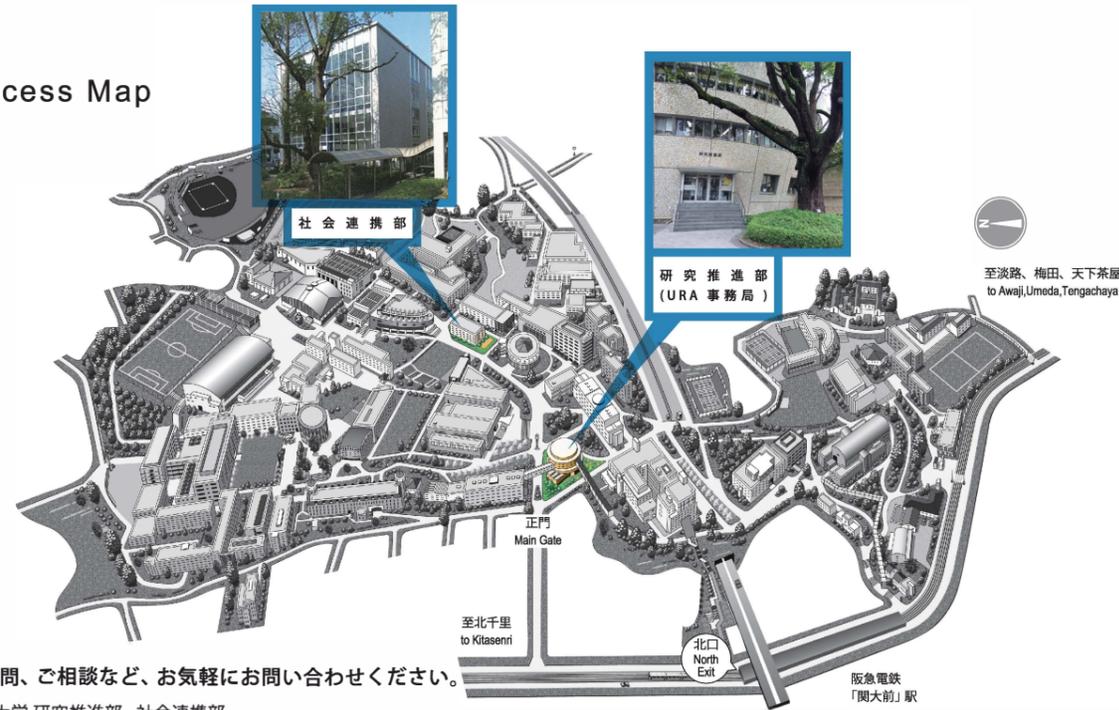


URA ⇔ 研究者

本学では、研究者とともに研究活動の企画・マネジメント、研究成果の活用促進等を行い、研究活動の活性化や研究推進体制の強化等を支える人材を、URA (University Research Administrator) として戦略的に配置しています。

つなげていく。
考え、研究者とともに
社会へ

Access Map



ご質問、ご相談など、お気軽にお問い合わせください。

関西大学 研究推進部・社会連携部
(URA事務局：研究支援・社会連携グループ)

〒564-8680
大阪府吹田市山手町 3-3-35
TEL : 06-6368-1784
FAX : 06-6388-9544
MAIL : kenkyushien@ml.kandai.jp



長岡 康夫
関西大学副学長(研究推進担当)
研究推進部長

ご挨拶

関西大学では、研究支援体制を充実させるために、平成24年度からURAという新しい体制を導入しています。関西大学URAの働きによって、教職協働の理念のもと、研究者がより研究活動に専念できる環境を実現します。

このURA体制を通じて、本学の研究力のさらなる強化を図るとともに、大学の使命である「教育」、「研究」、「社会貢献」のより一層の活性化及び高度化を目指します。

関西大学URAとは？

関西大学URA

現在、多くの研究者が多くの時間と労力を本来の研究以外の業務に費やしています。特に、企業等の多様な機関が関わる大型プロジェクトの実施や外部の研究資金を獲得すればするほど、本来の研究以外の煩雑な処理業務や学内外との調整・折衝業務の負荷が大きくなっているのが現状です。このため、研究者が研究活動に専念し、より高度な成果を生み出せるよう、本学独自に体系化した研究支援者であるリサーチ・コーディネーター（高度な専門能力を有する支援者=URA）を配置し、研究者の研究プロジェクトに適した柔軟なチーム体制で支援を展開しています。



Pre-Award

Pre | シーズ調査・分析

- 国の動向調査
- 産業界のニーズ探索
- 地域のニーズ探索
- 学内シーズの探索
- 関西大学の研究活動の現状分析

Pre | 研究企画

- 研究者のマッチング
- 研究戦略
- 産学官連携・知財戦略
- 地域連携戦略
- 研究組織の形成

Pre | 外部資金申請支援

- 概念形成支援
- ライティングアドバイス
- 申請書の作成支援
- 研究経費積算
- 知財管理

Flow of support
支援の流れ

Post-Award

Post | プロジェクト管理

- 研究契約締結
- 研究進捗管理
- 研究活動支援
- 経費の機関管理

Post | 成果の社会還元

- 研究成果公開促進
- 技術移転のプロモーション
- ホームページ等作成支援
- ワークショップ等の開催支援
- ベンチャー創出・事業化支援

一貫した支援体制

研究者が研究活動に専念できるよう、効果的な研究支援を目指します。

Pre-Award（外部資金の申請支援）から Post-Award（採択後の研究プロジェクト等の支援）までを結ぶ研究支援業務を「外部資金申請支援者」「プロジェクト運営支援者」「学術研究支援者」「産学官・知財マネージャー」「研究環境マネージャー」「成果公開促進担当者」の6群に体系化し、URAとして戦略的に配置し、研究者が研究活動に専念できるよう、効果的な研究支援を目指します。



研究者ニーズ ①

国の施策動向、分野動向等を調べてほしい



国の科学技術政策や学術研究振興施策等の動向を調査し提供します。

外部資金・補助金等に係る国の予算動向と施策の動向を経年的に把握・分析し、研究者の外部資金獲得戦略に活用できる情報を提供します。

研究者ニーズ ④

産学官連携プロジェクトを立ち上げたい



構想段階から実際のプロジェクト立ち上げまでをサポートします。

プロジェクトの分野や特性を理解し、関連機関との調整、共同研究契約手続き等を担うことで研究者が本来の研究活動に専念できるようサポートします。

研究者ニーズ ②

研究費を獲得したい



研究者の分野や特性に応じた適切な公募情報を提供します。

持続的な研究費の獲得に向け、短期的・長期的な研究費の獲得方針について研究者をサポートします。また、外部資金の公募情報は、随時ホームページやメールマガジン等に情報提供します。

研究者ニーズ ⑤

知財管理について詳しく知りたい



知的財産の創出から保護、活用に至るまでを全面的にサポートします。

産学官連携を推進する上での知的財産管理の諸課題について、高度な知識と経験・企画力を有するコーディネーターが研究者をサポートします。

研究者ニーズ ③

申請書の訴求力を高めたい



研究者と概念を共有し、申請書類の校正や概念図等の視覚化をサポートします。

公募元により異なる外部資金の目的を把握し、研究者と概念を共有することによって、より訴求力を高めるための高度な助言、文章構成チェック、代替提案、概念図の作成等を支援します。

研究者ニーズ ⑥

研究成果を効果的に発信したい



研究内容の特色を理解し、効果的なプロモーションを支援します。

研究成果を社会に向け発信するため、研究内容の特色、重要性、将来性等を理解し、ホームページやポスターの作成支援、イベント企画等を通じ、効果的な研究成果のプロモーションを支援します。